

東京未来ビジョン懇談会通信

2017.1.30 東京都

発行：政策企画局計画部

この懇談会は、都における政策の推進や政策形成等に新たな発想を取り入れるため、各界の第一線で活躍している新進気鋭の若手の方々と意見交換を行うことを目的に設置されました。

出席者：小池百合子(座長) 青木亮輔 伊勢谷友介 太田雄貴 落合陽一 高校生内閣
宿輪理紗 高橋みなみ 田口亜希 田根剛 西田圭志 蛭川実花 長谷部健
バックン 松澤香 メイミ ※敬称略、五十音順

小池都知事の挨拶 ※画像をクリックすると動画が見られます

今から100年以上前、当時の報知新聞の記事「20世紀の豫言」において、エアコン、ネット通販、自動車の普及など、当時は夢物語だと思われていたものが描かれ、この100年間で現実のものになっています。2030年、40年、50年に、次の世代が、こんな東京であって欲しい、という思いを語っていただき、「こんな考え方もあるんだ」というような、ワクワク感が出るような会議にしていきたいと思います。



伊勢谷友介氏のプレゼンテーション

衣・食・住の3つの領域で未来に持続可能な社会を構築する、「エシカル・エコノミー」を提案します。例えば、衣食住やエネルギーなど生活基盤はローカルで賄い、働き方も選択できるという、未来の生き方を東京の島で実践する「島しょ部のエコ・アイランド化」ができるのではないのでしょうか。



高校生内閣のプレゼンテーション

「私たちから日本を変えたい」という思いから、「高校生内閣」を設立し、若い世代の意識改革・政治参加・自己創造の実現を目指し活動しています。例えば、政治に対する意識改革として、お祭り会場に投票所を設けてはいかがでしょうか。政治とお祭りが融合することで、投票率向上や地域活性化につながるのではないのでしょうか。



日本では、オリンピックは健常者が見るもので、パラリンピックは障害者が見るものって思われている部分がある。(田口氏)

20代からじゃ遅いことはたくさんある。10代にいっぱい色々なことを見てやったらいいよと伝えたい。(蛭川氏)

出席者の発言

島では水産物の自給率が高く、東京にもかなりの量を出荷している。水産業と観光業を伸ばしていくことが重要。(西田氏)

マイナンバー制度が普及している中、投票所を、皆が毎日行っているコンビニにしてはどうか。(バックン氏)